

芦辺町生まれ

梶崎高校出身

22才

菱谷さんの職場紹介

★梶崎で輝く若者通信第23号★

お仕事の魅力をおしえて!

ちょこっと!質問コーナー

Q プライベートは?

20代が多いバレーボールチームに所属し、週2回、仕事終わりに練習に参加。さらに週末には大会にも出場しています!また、最近では梶崎市消防音楽隊「ハミングバース」にも入団し、テナーサクスを担当しています♪仕事にプライベートにと大忙しの充実した毎日です!



Q 梶崎の魅力は?

人との交流が多く、自然豊かなところが好きです!梶崎の空気が落ち着くので、梶崎に残ったことは全く後悔していません。

Q 好きなものを教えて!

車と旅行が好きです!最初は運転が怖くて免許を取るのも嫌でしたが、教習所が楽しくて、運転するのも見るのも大好きに!色々なカスタムがされた車を見たりするのも楽しいです。

Q 今後の目標は?

ケアマネジャーの資格を取ることで、介護福祉士の資格を取ってから5年間の経験を積むと受験することができるので、まずはそこを目指して頑張りたいです。



Q 後輩へのメッセージをどうぞ!

介護の道に進もうと悩んでいる方がいたら、私のように学校に通いながら仕事ができる制度もありますので、一度考えてみてほしいです。専門学校に通うのは不安もありましたが、留学生の友達ができ、とても楽しかったですし、その留学生とは今でも連絡を取り合う仲です。介護職はキツイという印象が強いと思いますが、少しでも興味がある場合は、まずは職場体験に来てもらいたいです!

発行元

若者定着促進会議

野上(梶崎振興局地域づくり推進課)

【問い合わせ先(事務局)】

TEL: 0920-47-4396

FAX: 0920-47-4809

MAIL: s13015★pref.nagasaki.lg.jp

※上記の「★」を「@」に置き換えてください。

(梶崎振興局地域づくり推進課)

社会福祉法人 梶崎市社会福祉協議会 ひしたに ゆうな 菱谷 優菜 さん



高校卒業後、梶崎市社会福祉協議会(以下、「社協」という)へ入職と同時に社協職員修学・派遣研修事業の制度を活用し、こころ医療福祉専門学校 梶崎校へ2年間派遣就学、介護福祉士の資格を取得した菱谷さん。社会人になった今でもバレーボールや吹奏楽を続けるなど、アクティブな一面も。デイサービスのお仕事に従事して3年目、日々奮闘中!!

社会福祉協議会 芦辺支所
芦辺町クオリティライフセンターつばさ
《住 所》
梶崎市芦辺町箱崎中山触2548番地
《業 務》(社会福祉協議会全体)
介護及び介護予防、障害者支援、子育て支援、ボランティア活動の推進など

高齢者のデイサービスを担当

利用者さんが一人で出来る
ことが増えた時は嬉しい!

感謝の言葉を直接
いただけるのが最大の魅力です。

大変なことも多いけれど、泣きながらお礼を言われた時はとてもやりがいを感じました。

仕事とプライベートの両立も
しっかりとできています!



お仕事 大公開!!

<午前>

利用者さんの送迎から業務がスタート。施設に着いたら入浴と着替えのお手伝いや看護師さんの指示のもとお薬を塗ったりもして、お昼ご飯の介助までが午前の業務。

<午後>

お昼からはレクリエーションや機能訓練の時間。利用者さんと一緒に体を動かし、おやつを食べたら帰りの準備を行い、家まで安全にお送りします。

～とある一日～(シフト制、日曜日はお休み)



介護福祉士として、現在は高齢者のデイサービスを担当。先輩職員さんたちのサポートも受けながら、和気あいあいとした職場環境で日々の業務を行っている。社協では、ほかの支所や部署へ異動し、高齢者支援だけでなく、障害者支援や子育て支援を経験する可能性もあるとのこと、菱谷さんにはさらなるステップアップが期待されている。

秘

梶崎に残った わけは…?

高校卒業後は就職を選択、多くの同級生と同じように島の外へ出ようと島外企業を受験し、合格までもらったものの、明確な夢や目標が決まらず…。「それならひとまず梶崎に残り、やりたいことが見つかった時に外へ出よう!」と思い直し、今の職場に就職。高校卒業時に梶崎に残った同級生(女子)は菱谷さんしかおらず寂しい思いもあったが、今は少しずつ同級生が島に戻ってきているのだとか。

こっそり教えちゃう

どうしてこの仕事を選んだの!?



幼いころからの「人の役に立つ仕事をしたい」という思いは変わらず、小学生の時に介護体験を行ったことがあったのもきっかけで、以前から興味があった介護の仕事に進むことに。最初は「事務職」としての入社だったが、実務を行いたい!という思いが強まり、デイサービスの担当になって3年目。修学派遣された2年間は、日々の学業と専門学校休業中の社協デイサービス業務での勤務を両立するほど努力家な菱谷さんはとても輝いていた。

